

第二回結党準備会

第二回共和党結党準備会

首藤信彦(すとうのぶひこ)

2019年11月20日

- 基本的方針説明:「次の日本へ」
- 「その道」とは
 - * 成長主義からの脱却、脱原発、アメリカの過剰管理からの独立、平和主義、アジア重視、
 - * 人間中心主義、未来志向、地球環境への責、正義・美徳・卓越・友愛の四公準などの
 - * 基本理念と政策に賛同した者だけが参加する。

低レベルの誤解・曲解

- 共和党はアメリカの共和党(トランプ大統領)と同じように、保守的で大企業優遇主義
- 共和党は天皇制を否定
- 日本はアメリカに守ってもらわないと、依存しないと生きていけない
- 経済成長・人口増加がないと日本は滅亡
- 脱原発は不可能。主張するのは文科系
- 地球温暖化は誤り、気候変動に対応無用

コミュニタリアニズム

- 小林正弥千葉大教授、マイケル・サンデルハーバード大教授などが理論展開
- 民主主義政治の行き詰まり、イスラムや難民など多様な価値観や要素の挑戦
- 個人・家族・社会の変容
- 行政や政府の限界
- もう一度、正義の原点などを考え、合意できる人々の集団・コミュニティから新しい社会や国家の在り方を考える

ポジティブ心理学

- マーチン・セリグマン教授(ペンシルバニア大)
- 実験心理学→絶望を学習する実験動物
- 伝統心理学(臨床):過去の悪い経験から現在対処するために薬物投与を繰り返す
- **ポジティブ心理学:将来あるべき姿を描き、そこに到達するために今何をすべきかを考える**
(経営学におけるBackcastに近い概念)
- **将来のゴールは「永続的に幸福な状態」**

行動経済学の貢献

- 行動経済学 人間行動の把握
スキポール空港トイレ便器のハエ
- 幸福経済学、計測可能になった「幸福」
出産直後至幸→仕事再開不幸→不幸・幸福?
保育園大量建設/**パートナー家事←初等教育**
- ビッグデータが示唆する可能性
- EscalationからDescalationへ
wifi・5G、高度高額医療→低度化→患者教育
- 財政膨張のくびきからの解放なるか?

科学的指標としての**PERMA**

- P:Positive 楽観的・建設的・積極的・能動的
- E:Engagement 必ずやり遂げる、コミットする
没頭する
- R:Relation 周りの人々を巻き込む
相互理解・相互協力
- M:Meaning 意味・意義を理解する
- A:Achievement 達成し継続する

民主主義と共和主義

- 民主主義 誰にも自動的に平等に資格
瞬間的判断
他者のみを評価
結果のフォロー無し
→衆愚政治化する本質的な傾向
- 共和主義 自律的市民・自己学習・社会活動参加
長期的判断
協働・参加・自分も評価・自分も責任
結果に責任
→失敗、弊害を修正・改善に積極参加

アジアの政治学の応用と進化発展

- プラトン・M. ウェーバー・ルーマン、ハーバマス
西洋政治学(文化・宗教・歴史が異なる)、議論→熟議
アジアに政治学は無いのか？
- アジアの政治学はリーダーシップ論
- 停滞からダイナミックな展開
陽明学・狂狷(孔子)
- 春秋戦国時代: 墨子の思想
非攻(先端技術による専守防衛)
平和構築人材の派遣
兼愛思想
男女同権
成長の否定

共和党の組織

- * ネットワーク組織
複数の個人・様々なグループを有機的に
組み合わせ、地域の勢力圏をつくる
- * 老若男女原則 どの組織にも老若男女が参加
- * U25の創設
次世代の政治指導者を育成するために
党組織と並列で若者の組織を作り、そこで
の独自の政策提言を本部に反映させる。

アジア的社会の価値再評価

• 正義・美德・卓越・友愛

• 「富国有徳」 (横井小楠)

第三回共和党結党準備会について

- 準備会としては最終回になる予定
- 出席者は必ず「次の日本へ」を読了ください
- 政党綱領に代わる「2040年日本の幸福」
どういう日本になりたいのか？への共通理解
- そこに到達するための共通善の模索
- 具体的政策テーマ提言
- 準備会を通しての包括議論